

2017年度 事業計画書・収支予算書

自 2017年4月1日

至 2018年3月31日

一般社団法人 **日本オートキャンプ協会**

一般社団法人日本オートキャンプ協会

2017 年度事業計画

(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31)

2016 年 3 月に発生した熊本地震は、最大震度 7 を記録し、熊本県及び大分県に甚大な被害をもたらした。協会は、これら被災された方々にオートキャンプ関係者の善意を届け、一日も早い復興を願った。また、この他、2016 年度には鳥取中部地震の発生や、多くの台風が発生し、平均を上回る 7 個の台風が日本に上陸し、台風の進路にあたる地域を中心に人的・財産的・社会的資本に多くの被害が生じた。被災された地域の一日も早い復興を祈念したい。このように 2016 年度は災害の多い 1 年になったが、オートキャンプに携わる人々、地域活性化に取り組んでおられる人々にとって近年にない最高のニュースがあった。8 月 3 日に開催された FICC の総会において FICC 世界大会の日本開催が承認されたことである。これを受けて、協会は、今年度を 2019 年 FICC 世界大会準備初年度と位置づけ、国、関係地方公共団体及び関係団体の協力のもと会員・役職員一丸となって同大会の成功と東日本大震災や原子力発電所事故からの復興並びに地域活性化のため先頭に立って邁進することとする。

協会が標語としている「Camping for Your Life」のもとで、オートキャンプが人々の生活と人生を豊かにし、だれもが安全に手軽に楽しめる国民的レジャーであることを媒体やイベント等あらゆる機会を通じて浸透を図っていく。

2017 年度は、2019 年 FICC 世界大会の日本開催に向けてソフト面であらゆる事業に取り組むほか、オートキャンプ発展のため、次の事業を推進することとする。

1. 国内はもとより海外に向けても日本のオートキャンプの魅力を発信するとともに「オートキャンプツーリズム」の確立を図ること。また、近年増加している訪日外国人を地方へ誘客するための有効な手段として、日本各地に所在する会員オートキャンプ場相互間の更なる緊密な連携・協力体制を築くこと。

政府が進めている「観光立国推進基本計画」への賛同や公益社団法人日本観光振興協会主催の「観光立国推進協議会」に参画するなど政府や関係団体との連携を一層強化すること。

2. 毎年オートキャンプの幕開けの時期、4 月に東京・代々木公園で開催しているアウトドアショー「アウトドアデイジャパン 2017」は、今回で 17 回目を迎えるが、このショーは、キャンパー、オートキャンプ場、用具・用品関連企業、RV・施設関連企業、その他関連団体が集い、多くの人々

にオートキャンプを中心とするアウトドア活動の魅力と楽しさを発信する一大イベントとなっている。2017 年度には、東京開催に加え札幌開催及び昨年度は熊本地震のためチャリティショーに切り替えた福岡開催も予定しており、首都圏のみならず地方都市の人々にもオートキャンプとアウトドア活動の魅力を最新の情報に乗せて伝えていくこと。

3. 指導者は、地域ブロックにおけるオートキャンプ活動の中心的役割を担い、かつ、協会活動を支える人材として位置づけている。2017 年度においても地域ブロックとの連携のもとで指導者資格認定講習会を開催するとともに、昨年度新しく取り組んだアウトドア関連企業の職員等を対象にした講習会も積極的に開催し、更に幅広く指導者の養成を目指していくこと。また、5 つの地域ブロックと全国に展開するコーディネーターを核として全国各地域における普及促進活動を強化すること。

4. 「ジャパンキャンピングラリー2017」については、オートキャンプの普及促進だけではなく、全国への開催地情報の発信と全国から集まったキャンパーと地域の人々の交流等を通じた地方創生に貢献するために地元の自治体や関係団体及び会員オートキャンプ場等と協力して大会を開催すること。

5. また、定款の改正により、支部の認定を理事会の議決事項としたことに合わせて、支部を協会の協力機関として位置づけ、協会が委託する事業の推進及びオートキャンプの発展に寄与する自主事業がスムーズに運営されるよう協会は助力すること。なお、支部は、一定の地域の個人会員で構成する団体の申請に基づき支部長を委嘱することにより協会の協力機関となることとする。

6. 豊かな自然環境を楽しむオートキャンプには、自然災害に対する最新の注意が必要であるが、2017 年度においても、キャンパーやオートキャンプ場に対して安全管理やリスク・マネジメントのための必要な情報を提供するとともに、指導者のスキル・アップを支援していくこと。

7. その他の事業としては、財政基盤の確立を図るため、当協会が有する資源を活用した事業展開を図るとともに、事業内容に応じた関係企業・団体との協働(コラボレーション)による実効性のある事業を推進すること。また、2019年の協会創立50周年に向けて記念事業を検討することとする。

1. オートキャンプの普及促進

(1)アウトドアデイジャパン

①アウトドアデイジャパン 2017 東京

開催期間:2017年4月8日(土)~9日(日)

開催場所:都立代々木公園 B 地区イベント広場・けやき通り・野外ステージ
(東京都渋谷区)

②アウトドアデイジャパン 2017 福岡

開催期間:2017年4月22日(土)~23日(日)

開催場所:天神中央公園(福岡県福岡市中央区)

③アウトドアデイジャパン 2017 札幌

開催期間:2017年6月17日(土)~18日(日)

開催場所:北海道庁赤レンガ庁舎前庭及び北3条広場(北海道札幌市中央区)

(2)第13回「オートキャンプの日」事業

「オートキャンプの日(毎年5月第3土曜日、2017年5月20日)」を記念して全国のオートキャンプ場において、オートキャンプの普及・発展を促進する各種行事を実施する。また、公益財団法人日本レクリエーション協会が同月主催する全国一斉「あそびの日」キャンペーンにも参加する。

(3)ジャパンキャンピングラリー2017(第47回全日本オートキャンプ大会)の開催

開催時期:未定

開催場所:未定

(4)地域ブロック大会の主催

①北海道オートキャンプ大会

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

②東北オートキャンプ大会

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

③JAC 関東の集い

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

④JAC 東海の集い

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

⑤JAC 近畿の集い

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

(5)オートキャンプの普及促進並びに会員数増大のための支援・協賛

①増加しつつある20代キャンパー、シニアキャンパー、女性キャンパー向けの情報を広報紙やホームページなどを通じて充実・強化し、これらの層の更なる増加と定着を図り会員数増大に繋げる。

②支部規程に基づき認定された支部に対し、助成金を交付する。

(6)会員制度の充実と会員数増大策の推進

①個人会員

- ・会員割引特典対象キャンプ場の拡充とアウトドア用品販売店等への会員割引制度の導入。
- ・一般キャンパーに対する協会主催事業及び共催事業への参加勧誘による入会促進。
- ・オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド、広報紙、ホームページ等の各種媒体による情報提供の充実。
- ・クラブや指導者等を通しての入会勧誘。

②団体会員(オートキャンプ場)

- ・オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド、広報紙、ホームページ等の各種媒体、イベント等での会員情報の発信拡充。
- ・未加入のオートキャンプ場に対するあらゆる機会を通じての入会勧誘の実施。

③団体会員(用具・用品及びRV・施設関連)

- ・オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド、広報紙、ホームページ等の各種媒体、イベント等での会員情報の発信拡充
- ・イベント出展案内等によるオートキャンプ関連事業者に対する入会勧誘の実施

(7)「観光としてのオートキャンプ」の普及促進

- ①国策である観光立国推進計画、地方創生を追い風に、協会内はもとより観光庁など外部関連機関との連携により地域の特性を活かしたオートキャンプの振興を図る。
- ②会員キャンプ場のFICCキャンプ場検索サイトへの登録を推進し、海外への情報発信を強化し、訪日キャンパーの増加を目指す。
- ③台湾・香港に加えて韓国・中国を重点国とし、訪日キャンプツアーなど訪日外国人に対するオートキャンプの促進に向けた取り組みを開始する。

(8)収益事業の拡充

- ①全国約 300 カ所の会員キャンプ場のほか、未加入のキャンプ場を含めた全国のキャンプ場のネットワークを活用したサンプリング事業の実施拡充。
- ②キャンプ場運営に必要な需品のあつ旋等の拡充
- ③ホームページへのバナー広告掲載等広報媒体の活用及びその他の収益事業の開発
- ④協会が有する資源を活用した出版販売等による収入の拡充

(9)その他

オートキャンプを楽しむ初心者に、より良い器具、キャンプ用品等を紹介できるシステムの構築に向けて検討する。

2. オートキャンプに関する相談及び支援

(1)オートキャンプ場整備事業

公設キャンプ場にイベント用宝くじテント(一般財団法人日本宝くじ協会助成事業)を配布する。

(2) 星マーク認定制度の改定

①星マーク認定制度のオートキャンプ場評価基準に基づき、オートキャンプ場の星マーク認定を行う。

②星マーク認定制度を近年のオートキャンプ事情を反映した新しい制度に改正し、その進捗を図る。

(3) 公認オートキャンプ指導者の活用促進

会員オートキャンプ場がキャンプ入門教室の開催、各種イベントの実施、繁忙期の支援などに地域の指導者を活用しやすくする方策を検討する。

(4) オートキャンプ場保険の取り扱いの推進

キャンプ場保険の必要性を研究会、講習会、広報紙等を通して告知し、会員オートキャンプ場に対し保険加入の促進を図る。

(5) オートキャンプ場の運営に関する相談事業

オートキャンプ場の建設、リニューアル、整備、従業員教育の相談等につき積極的に対応する。

(6) 地域ブロックキャンプ場フォーラムの開催

オートキャンプ場相互及び協会との繋がりを強くすることにより相互連携の基盤をつくり、地域におけるオートキャンプの普及促進を図るための情報交換会としての「地域ブロックキャンプ場フォーラム」を開催する。

開催時期:未定

開催場所:未定

3. オートキャンプに関する広報

(1) 広報紙「オートキャンプ」の発行・配布

広報紙「オートキャンプ」には、オートキャンプに関するテーマやオートキャンプ周辺のテーマなどあらゆる最新情報を網羅しており、読む人誰でもが興味と知識の吸収の源として活用できるものとして毎月発行している。

※毎月2万5千部、年12回30万部発行

※一般財団法人日本宝くじ協会助成事業

配布先:個人会員、団体会員、会員外キャンプ場、アウトドア用品販売店、生涯学習センター、道の駅等

(2)「オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド 2017」の刊行・配布

第一部は、オートキャンプの入門書として、オートキャンプの初歩を懇切丁寧に記述することにより、見るだけでオートキャンプの楽しさや喜びが湧いてくるものとし、多くのキャンパー初心者やこれから始めようとしている皆さんをオートキャンプへ誘う魅力あるハンドブックとする。

第二部は、全国の会員オートキャンプ場約300カ所の特徴や施設の概要などを詳細に紹介するとともに、会員外キャンプ場約800カ所については、所在リストを掲載する。このガイドブックは第一部と第二部を併せて一つの冊子とすることにより初心者からベテランまで活用できるものとして刊行する。

※10万部、2017年5月刊行予定

※一般財団法人日本宝くじ協会助成事業

配布先:個人会員、団体会員、会員外キャンプ場、道の駅、アウトドア用品販売店、イベントでの配布等

(3)自然災害による被害を予防するための情報の発信及び啓蒙

①多発する自然災害による被害を予防するために、自然災害に関する情報サイトをウェブサイトに掲載して、キャンパーに情報を提供する。

②広報紙等を通じて自然災害による事故を予防するための教育及び啓蒙を図る。

(4)ウェブサイトによる情報の提供

①イベントの告知、キャンプ場紹介、リンク情報をさらに充実する。

②ウェブサイト上に「公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会」の年間の開催スケジュールを掲載する。

(5)SNSによる情報発信と情報交換・交流

facebook等のSNSによるキャンパーや指導者への情報発信と、キャンパーや指導者間の情報交換・交流を図る。

(6)報道機関等への情報の提供

各種イベント、オートキャンプのトレンド等マスメディアへオートキャンプ関係の情報提供を充実させ、協会の知名度を高める。

(7)オートキャンプに関わる電話相談等の対応

オートキャンプ場に関するあらゆる相談、新しくオートキャンプ場の建設を考えている地方公共団体や法人・個人に対して協会編集の「オートキャンプ場建設・管理運営マニュアル」を中心に相談に応じるとともに、実地にて指導を行う。

4. オートキャンプ指導者の養成研修

(1)公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会の開催

①「 」指導者講習会(第 30 回)

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

②「 」指導者講習会(第 31 回)

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

③「 」指導者講習会(第 32 回)

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

④「 」指導者講習会(第 33 回)

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

⑤「 」指導者講習会(第 34 回)

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

⑥「 」指導者講習会(第 35 回)

開催期間:未定

開催場所:未定

主 幹:未定

- (2) 「公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会開催マニュアル」の発行
各地域でコーディネーターが指導者講習会を企画及び実施する際に考慮すべき事項、実施手順、過去の経験を踏まえたノウハウなどをまとめた開催マニュアルを改訂・配布する。

5. オートキャンプ場経営に関する研究会の開催

- (1) 第 24 回オートキャンプ場経営研究会の開催
開催時期: 未定
開催場所: 東京(又はオートキャンプ場(未定))

6. オートキャンプに関する情報の収集・提供及び調査研究

キャンパーへのアンケート、キャンプ場へのアンケート等を実施し、まとめることにより、オートキャンプの過去・現在・未来を浮き彫りにし、その結果をキャンプ関係者等に公表する。

(1) アンケート調査の実施

キャンパーの意識調査、用具・用品及びRV・施設関連、オートキャンプ場の実態調査を実施する。アンケート結果は、白書の基本データへの活用や、オートキャンプの普及促進に活用するとともに、他への活用も検討する。

(2) 「オートキャンプ白書 2017」の発行

アンケート調査結果を分析した「白書」を発行し、オートキャンプを取り巻く環境の現状をマスメディア等を通し広く社会にアピールする。

(3) 「オートキャンプ白書 2017」発表会の開催

マスメディア等に白書概要を発表する場を設け、オートキャンプの広報を強化する。また、オートキャンプ場や用具・用品メーカー、キャンパー等の意見や声を集約するとともに、必要に応じて関係官庁に陳情等を行う。

7. 関係団体との連絡提携

- (1) 観光庁をはじめとして文部科学省、スポーツ庁、総務省、環境省及び地方公共団体等との連携を強化する。また国及び地方公共団体が実施する事業へ積極的に参加し、連携の強化を図る。
- (2) 自動車関係団体、観光関係団体、スポーツ・レクリエーション、アウトドア関係団体との連携を強化する。また、公益社団法人日本観光振興協会主催の「観光立国推進協議会」に参画し、オートキャンプツーリズムの確立を目指す。
9月15日(金)～17日(日)に北海道函館市で開催される公益財団法人日本レクリエーション協会の主催行事である「全国レクリエーション大会 in 函館」に加盟団体として出展し、オートキャンプの普及促進を図る。

8. 国際関係

(1)FICC関係

①第85回FICC世界大会

開催時期:2017年5月17日(水)～5月26日(金)

開催場所:トルコ・ダッチャ

②)FICC総会

開催時期:2017年6月17日(土)

開催場所:ブリュッセル

③第86回FICC世界大会

開催時期:2017年9月30日(土)～10月9日(月)

開催場所:台湾・ジンシヤン

④FICCアジア・パシフィック委員会

開催時期:2017年9月30日(土)～10月9日(月)

(第86回FICC世界大会期間中に開催)

開催場所:台湾・ジンシヤン

9. 創立 50 周年記念事業に向けて

2019 年の協会創立 50 周年に向けた記念事業の一環として、2016 年 8 月に FICC 世界大会の日本への招致が決定したことを踏まえ、開催に向けたシナリオを構築するとともに、「実行委員会」を設立し、2017 年度を世界大会準備初年度と位置づけ、関係者の総合力を結集し推進する。

収支予算書

(収入の部)

科目	予算額	前年度 予算額	増減	備考
1会費収入	22,045,000	20,365,000	1,680,000	
正会員	21,595,000	19,765,000	1,830,000	2017年度正会員会費
賛助会員	450,000	600,000	▲150,000	2017年度賛助会員会費
2助成金収入	50,955,000	48,060,000	2,895,000	日本宝くじ協会助成金
3事業収入	56,765,000	58,305,000	▲1,540,000	アウトドアデザインパン収入、広告掲載料、講習・研修会収入、指導者登録・更新料、星マーク認定登録・更新料、書籍販売、サンプリング収入他
4雑収入	262,000	480,000	▲218,000	キャンプ場保険手数料、預金利息他
5退職給与特定預金取崩収入	0	0	0	
事業活動収入合計	130,027,000	127,210,000	2,817,000	
前期繰越差額	602,000	0	602,000	
収入合計	130,629,000	127,210,000	3,419,000	

(支出の部)

科目	予算額	前年度 予算額	増減	備考
1事業費	99,595,000	100,981,000	▲1,323,000	
(1)事業管理費	16,254,000	20,228,000	▲3,974,000	事業費分/ 常勤役員報酬、職員給与、福利厚生費、通勤手当等
(2)普及促進費	25,889,000	26,233,000	▲344,000	アウトドアディジャン開催費 オートキャンプの普及促進事業費
(3)相談及び支援事業費	11,074,000	10,850,000	224,000	宝くじチケット配布事業等 地域ブロックキャンプ場フォーラム(エリアミーティング)
(4)養成研修費	460,000	656,000	▲196,000	指導者認定講習会、経営研究会の実施等
(5)広報活動費	41,894,000	40,560,000	1,334,000	各種広報媒体作成費、ホームページ運用費等
(6)調査研究費	1,544,000	1,543,000	1,000	オートキャンプ白書の作成費等
(7)連絡提携費	758,000	541,000	217,000	FICC会費、国際大会出張・参加費、 関係団体会費等
(8)業務費用	1,722,000	370,000	1,352,000	木炭・焼肉網洗剤仕入費用他
2管理費	29,608,000	26,155,000	3,453,000	
(1)給料手当	16,227,000	13,558,000	2,669,000	一般管理費分/常勤役員報酬・退職金、職員給与
(2)職員退職掛金	415,000	280,000	135,000	中退共掛金
(3)福利厚生費	2,139,000	2,013,000	126,000	一般管理費分/健康・労働保険料他
(4)会議費	1,146,000	922,000	224,000	総会・理事会等・常任理事会会場費、交通費等
(5)旅費及び交通費	444,000	426,000	18,000	一般管理費分/役員交通費他
(6)通信運搬費	988,000	972,000	16,000	電話料、郵便料他
(7)印刷製本費	156,000	156,000	0	事業報告書・決算書作成費
(8)賃借料	3,971,000	3,856,000	115,000	事務所家賃、コピー料金、機器リース費他
(9)備品購入費	0	0	0	事務機器等購入費
(10)消耗品費	424,000	372,000	52,000	事務消耗品購入費
(11)光熱水費	229,000	284,000	▲55,000	水道代、電気代
(12)渉外費	21,000	21,000	0	慶弔費
(13)雑費	1,017,000	862,000	155,000	会計事務所報酬費等
(14)租税公課	2,431,000	2,431,000	0	消費税、法人税等
(15)支払利息	0	0	0	借入金利息
3予備費	626,000	64,000	560,000	
4退職給与引当特定預金	800,000	10,000	790,000	
事業活動支出合計	130,629,000	127,210,000	3,417,000	
当期収支差額	▲602,000	0	600,000	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(注)借入限度額は500万円とする